



手縫いのタオル帽子に気持ち込め 五日市記念病院に寄贈 レディースクラブ五日市支部

「わたしたちが今できる活動を始めて患者さんに笑顔届けよう！」

レディースクラブ五日市支部は3月上旬、社会医療法人清風会五日市記念病院へ手縫いのタオル帽子35枚を寄贈しました。「コロナ禍でも負けない前向きな活動や地域貢献に取り組んでいこう」という思いから、『家の光』に掲載されていた他県の事例を参考に、薬物治療の副作用に悩んでいる患者さん用に役立ててもらいたいと初めて企画。山崎トヤ子支部長を中心に会員へ声掛けをして賛同会員を募り、35名が約3時間掛けてタオル1枚から帽子1つを縫い上げ、感染対策のため全ての帽子を除菌して包装しました。帽子作りにミシンを使わないのは肌触りが柔らかく、髪や頭皮に優しいから。受け取った向田一敏理事長は「温かい気持ちが患者の励みになる」と感謝を述べ、山崎支部長は「患者さんに喜んでいただけることが会員の喜びに



▲(左から)安達看護部部長と向田理事長に手縫いのタオル帽子を渡す山崎支部長と福本副支部長



▲タオル帽子作りを行ったレディースクラブ会員の皆さん

繋がる」と話します。五日市支部では、これからも活動を続け、地域の病院へ寄贈していく予定です。



JA広島市レディースクラブは、持続可能な社会の実現に向けてSDGsに取り組んでいます。



第37回

JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として、組合員、地域から「必要とされ、なくてはならない存在」となることを目指し、さまざまな取り組みを展開しています。

JA広島市の自己改革

食と農と地域(人)を結ぶ - JA広島市の食農教育プラン -

子どもたちが、「そだてる、つくる、たべる」の一貫した流れの中で、食と農と地域と自然の大切さを理解し、食のあり方、農のあり方、命の尊さを学ぶ食農教育活動。JA広島市では、生産から消費まで自己完結できる強みを生かし、次世代の育成、健全な「農業・食卓・地域(人)」づくりに貢献することを目指した食農教育活動を実践しています。

その取り組みの一環として「JA広島市の食農教育プラン」を設定し、日帰り食農体験プランなどを提供しています。令和3年度は、以下の3プランを準備し、小学校や幼稚園・保育園、子ども会や親子グループなどの団体からの申込みを受け付けています。



昨年の食農体験(バウムクーヘンづくりの様子)

- ①<湯来コース> 「マイ箸作り体験」&「こんにやく または 森のお菓子づくり または アイスクリーム」手作り体験
(令和3年6月～令和4年2月中旬)
- ②<豊平コース> 「そば打ち体験」&「新鮮な野菜・果実狩り」
(令和3年7月上旬～令和3年10月)
- ③<三次コース> 平田観光農園「りんご狩り体験」と「地元野菜のBBQ」
(令和3年8月下旬～令和3年11月下旬)

JA広島市 食農教育



詳しくはJA広島市ホームページを
ご覧いただくか、各支店 または
地域ふれあい課☎082-870-3511
までお問い合わせください

※新型コロナウイルスの感染状況により受付を中止する場合がございます。